

IBM TotalStorage®



管理

IBM TotalStorage®



管理

— お願い: —

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、19 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

目次

表	v
注意情報および資料情報	vii
安全上の注意	vii
環境に関する注意	vii
製品のリサイクルと廃棄	vii
バッテリー回収プログラム	viii
第 1 章 ユーザー・アカウントの管理 . . .	1
第 2 章 ユーザー・アカウントの追加 . . .	3
第 3 章 ユーザー・アカウントの変更 . . .	5
第 4 章 ユーザー・アカウントのアンロッ ク	7
第 5 章 ユーザー・アカウントの除去 . . .	9
第 6 章 パスワード規則の定義	11
第 7 章 User Groups (ユーザー・グル ープ).	13

第 8 章 管理パスワードのアンロック . .	17
特記事項	19
アクセシビリティ	20
商標	21
使用条件	22
電波障害自主規制特記事項	23
Federal Communications Commission (FCC) statement	23
Industry Canada compliance statement	23
European community compliance statement	23
情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) クラス A 表示	24
Korean Ministry of Information and Communication (MIC) statement	25
Taiwan class A compliance statement	25
索引	27

表

1. ユーザー・グループの機能 14

注意情報および資料情報

このセクションには、本ガイドで使用されている安全に関する注意情報、本製品の環境に関する注意情報、および資料情報を記載します。

安全上の注意

安全上の注記に関する情報を見つけるには、このタスクを完了します。

危険の注記または注意の注記に関する翻訳のテキストを探すには、次のようにします。

1. 危険の注記または注意の注記の最後にある識別番号を探します。以下の例では、番号 **1000** および **1001** が識別番号です。

危険

危険の注記は、生命の危険または重傷を引き起こす可能性がある危険があることを示します。

1000

注意:

注意は、軽傷または軽微なけがを引き起こす可能性がある危険があることを示します。

1001

2. 「IBM ストレージ・ソリューション 製品の安全上の注意事項 IBM パーサタイル・ストレージ・サーバー IBM エンタープライズ・ストレージ・サーバー」GD88-6025 に記載されている、一致する番号を見つけます。

環境に関する注意

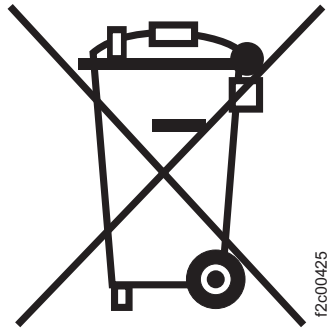
本セクションでは、本製品に関連する環境ガイドラインについて示します。

製品のリサイクルと廃棄

このユニットには、リサイクル可能な素材が組み込まれています。

この装置は、お客様の地域または国で適用される規制に従ってリサイクルまたは廃棄する必要があります。IBM® では、情報技術 (IT) 機器の所有者に、機器が必要でなくなったときに責任を持って機器のリサイクルを行うことをお勧めしています。IBM は、機器の所有者による IT 製品のリサイクルを支援するため、いくつかの国においてさまざまな回収プログラムとサービスを提供しています。IBM 製品に関

するリサイクルのオファリングについては、
<http://www.ibm.com/ibm/environment/products/prp.shtml> にある IBM のインターネット・サイトを参照してください。



注: WEEE マークは EU 諸国とノルウェーにのみ適用されます。

この機器には、EU 諸国に対する廃電気電子機器指令 2002/96/EC (WEEE) のラベルが貼られています。この指令は、EU 諸国に適用する使用済み機器の回収とリサイクルの骨子を定めています。このラベルは、使用済みになった時に指令に従って適正な処理をする必要があることを知らせるために種々の製品に貼られています。

欧州 WEEE 指令に沿って、寿命がきた電気/電子機器 (EEE) は分別回収され、再利用、リサイクル、あるいは再生されます。WEEE 指令の付則 (Annex) IV 規則によりマークされた電気/電子機器 (EEE) の使用者は、使用済みの電気・電子機器を地方自治体の無分別ゴミとして廃棄することは許されず、機器に含まれる有害物質が環境や人体へ与える悪影響を最小に抑えるためにお客様が利用可能な廃電気・電子機器の返却、リサイクル、あるいは再生のための回収方法を利用しなければなりません。電気/電子機器に含まれている可能性のある有害物質が、環境や人間の健康に与える影響を最小化することにお客様が参加することは重要です。適切な回収方法や処理方法の詳細については IBM 担当員にお問い合わせください。

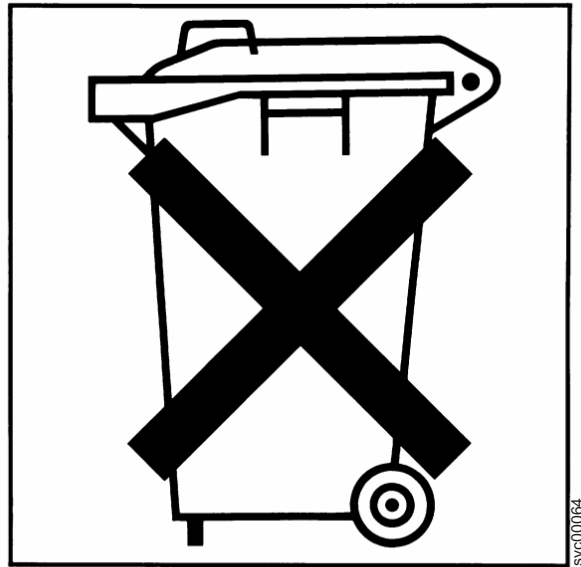
バッテリー回収プログラム

この製品には、密封された鉛酸、ニッケル・カドミウム、ニッケル水素、リチウム、およびリチウム・イオン・バッテリーが含まれている場合があります。特定のバッテリー情報については、お手元のユーザー・マニュアルまたはサービス・マニュアルを参照してください。バッテリーは、正しくリサイクルするか廃棄する必要があります。リサイクル施設がお客様の地域にない場合があります。米国以外の国におけるバッテリーの廃棄については、

<http://www.ibm.com/ibm/environment/products/batteryrecycle.shtml> を参照するか、お客様の地域の廃棄物処理施設にお問い合わせください。

米国では、IBM は、IBM 装置からの使用済みの IBM の密封された鉛酸バッテリー・パック、ニッケル・カドミウム・バッテリー・パック、ニッケル水素バッテリー・パック、その他のバッテリー・パックの再利用、リサイクル、または適切な廃棄のための回収プロセスを確立してあります。これらのバッテリーの正しい廃棄については、IBM 1-800-426-4333 にお問い合わせください。お問い合わせの前に、バッテリー上に記載されている IBM パーツ・ナンバーをご用意ください。

オランダでは次の図が付きます。



台湾の場合:



バッテリーをリサイクルしてください。

廢電池請回收 svcd00066

品質の高い資料を作成する上で、お客様のフィードバックは重要な役割を果たします。この情報またはその他の DS6000™ シリーズ資料に関するご意見は、以下の方法で送信してください。

- E メール

ご意見は E メール・アドレスに送信してください。

starpubs@us.ibm.com

書籍の名前および資料番号、および該当する場合は、コメントされるテキストの場所 (ページ番号や評表番号など) を必ず記載してください。

- 郵送

本書の末尾のご意見記入フォーム (RCF) にご記入ください。郵便またはファクシミリ (1-800-426-6209) でお送りいただくか、 IBM 担当員にお渡しください。
(030624) RCF が添付されていない場合は、以下の住所にご意見をお送りください。

International Business Machines Corporation
RCF Processing Department
Department 61C
9032 South Rita Road
TUCSON AZ 85775-4401

第 1 章 ユーザー・アカウントの管理

このセクションのトピックでは、お客様の DS6000 ユーザー・アカウントの管理に関連する情報を提供します。管理者レベルの特権を持っている場合は、新規ユーザー・アカウントの追加、既存ユーザー・アカウントの削除、またはユーザー・アカウントのユーザー名、パスワード、およびグループの変更ができます。DS Storage Manager にアクセスするためのパスワードをユーザーが忘れることがあります。間違ったパスワードの使用回数が、設定されている試行許容回数を超えると、アカウントはロックされます。管理者は、ユーザー・アカウントをアンロックすることができます。管理者アカウントがロックされた場合は、管理者はセキュリティー・リカバリー・ユーティリティー・ツールを使用する必要があります。管理者レベルの特権がない場合のアカウント管理特権は、自分のユーザー ID に新規パスワードを入力するだけに限定されます。

第 2 章 ユーザー・アカウントの追加

新規ユーザー・アカウントを追加するには、管理者レベルの特権が必要です。管理者レベルの特権を持っていない場合は、「ユーザー管理 - メインページ」の「**アクションを選択**」ドロップダウン・ボックスに「追加」が表示されません。ユーザー・アカウントは、**mkuser** DS コマンド行インターフェースのコマンドで追加することもできます。詳しくは、DS CLI の資料を参照してください。

1. 「**モニター・システム**」で、「**ユーザー管理**」を選択する。「ユーザー管理 - メインページ」で、「**アクションを選択**」ドロップダウン・ボックスの「**追加**」を選択します。次に「**実行**」をクリックします。「ユーザーの追加」ページが表示されます。
2. ユーザー名を指定する。16 文字まで入力することができます。
3. ユーザー・アカウント・パスワードを指定する。この入力は一文字ずつ表示されます。

パスワードは、以下の基準に従う必要があります。

- 6 - 16 文字長にする。
 - 5 文字以上を含み、先頭と末尾は文字でなければならない。
 - 1 つ以上の数を含む必要がある。
 - ユーザーのユーザー ID は含めることができない。
 - 大/小文字の区別あり。
 - 旧パスワードを再利用するには、4 つの固有の新規パスワードを発行する必要があります。
4. 「**パスワードの確認**」ボックスにパスワードを再入力する。ここでの入力は、上記のパスワードの入力と一致する必要があります。このフィールドの文字は、一文字ずつ表示されます。
 5. 「**グループの割り当て**」ボックスで適切なグループを選択して、グループの役割をユーザー・アカウントに割り当てる。
 6. 「**OK**」をクリックします。追加したユーザー ID は、「ユーザー管理 - メインページ」で選択できるようになります。

第 3 章 ユーザー・アカウントの変更

管理者レベルの特権を持っている場合は、ユーザー・アカウントのユーザー名、パスワード、およびグループの変更ができます。管理者レベルの特権を持っていない場合は、自分のユーザー ID の新規パスワードのみを入力することができます。ユーザー・アカウントは、**chuser** DS コマンド行インターフェースのコマンドで変更することもできます。詳しくは、DS CLI の資料を参照してください。

パスワードとその使用方法は、以下の基準に従う必要があります。

- 6 - 16 文字長にする。
 - 5 文字以上を含み、先頭と末尾は文字でなければならない。
 - 1 つ以上の数を含む必要がある。
 - ユーザーのユーザー ID は含めることができない。
 - 大/小文字の区別あり。
 - 旧パスワードを再利用するには、4 つの固有の新規パスワードを発行する必要があります。
1. 「モニター・システム」で、「ユーザー管理」を選択します。「ユーザー管理」メインページで、「アクションを選択」ドロップダウン・ボックスの「変更」を選択します。次に、「実行」をクリックします。「ユーザーの変更」ページが表示されます。
 2. ユーザー名を変更するには、最大 16 文字を入力します。管理者レベルの特権を持っていない場合、ユーザー名はデフォルトで「**User name (ユーザー名)**」ボックスに表示され、変更することはできません。
 3. ユーザー・アカウント・パスワードを指定します。パスワードには、少なくとも 5 文字の英字と少なくとも 1 つの数字を使用し、パスワードの先頭と末尾は英字にする必要があります。パスワードは、合計 16 文字に制限されています。ユーザー名をパスワードの一部にすることはできません。最小 4 個のそれぞれ固有の新規パスワードを使用してからでないと、旧パスワードを再使用することができません。この入力は一括表示されます。
 4. 「パスワードの確認」ボックスにパスワードを再入力する。ここでの入力は、上記のパスワードの入力と一致する必要があります。このフィールドの文字は、一括表示されます。
 5. 「**Group assignment (グループ割り当て)**」ボックスで適切なグループを選択して、ユーザー・アカウントにグループ役割を割り当てます。
 6. 「**OK**」をクリックします。ユーザー・アカウントのプロパティが即時に変更されます。

第 4 章 ユーザー・アカウントのアンロック

DS Storage Manager にアクセスするためのパスワードをユーザーが忘れることがあります。間違ったパスワードの使用回数が、設定されている試行許容回数を超えると、アカウントはロックされます。ユーザーのアカウントをアンロックするには、管理者はユーザーのアンロック処理を使用します。Administrator アカウントがロックされた場合、Administrator はセキュリティ・リカバリー・ユーティリティ・ツールを使用する必要があります。ユーザー・アカウントは、**chuser** DS コマンド行インターフェースのコマンドでアンロックすることもできます。詳しくは、DS CLI の資料を参照してください。

ユーザーのアカウントをアンロックするには、管理者レベルの特権が必要です。管理者レベルの特権がない場合は、ユーザー・アカウントをアンロックすることも、セキュリティ・リカバリー・ツールを使用して Administrator アカウントをアンロックすることもできません。

注: このタスクでは、ユーザーをアンロックする処理について説明します。管理パスワードのアンロック・タスクでは、セキュリティ・リカバリー・ユーティリティ・ツールを使用して、Administrator アカウントをアンロックする方法を説明します。

1. 「モニター・システム」で、「ユーザー管理」を選択する。「ユーザー管理 — メインページ」でアンロックするユーザー ID を選択します。
2. 「アクションを選択」ドロップダウン・ボックスの「ユーザーのアンロック」を選択する。次に「実行」をクリックします。確認メッセージが表示されます。
3. 「OK」をクリックする。「アカウント状況」列が内容に従って更新されます。

第 5 章 ユーザー・アカウントの除去

管理者レベルの特権を持っている場合は、既存のユーザー・アカウントを削除することができます。管理者レベルの特権を持っていない場合は、「ユーザー管理」メインページの「**アクションを選択**」ドロップダウン・ボックスに「削除」が表示されません。ユーザー・アカウントは、**rmuser** DS コマンド行インターフェースのコマンドで削除することもできます。詳しくは、DS CLI の資料を参照してください。

1. 「**モニター・システム**」で、「**ユーザー管理**」を選択します。「ユーザー管理」メインページで、除去するユーザー ID を選択します。
2. 「**アクションを選択**」ドロップダウン・ボックスの「**削除**」を選択します。次に、「**実行**」をクリックします。確認メッセージが表示されます。
3. 「**OK**」をクリックします。ユーザー ID が即時に削除されます。

第 6 章 パスワード規則の定義

パスワードの有効期間および許可されるログインの最大失敗回数を設定するには、このタスクを完了します。

パスワード規則を定義するには、管理者レベルの特権が必要となります。管理者レベルの特権を持っていない場合は、「ユーザー管理」メインページの「**アクションを選択**」ドロップダウン・メニューに「パスワードの設定」が表示されません。

パスワードとその使用方法は、以下の基準に従う必要があります。

- 6 - 16 文字長にする。
 - 5 文字以上を含み、先頭と末尾は文字でなければならない。
 - 1 つ以上の数を含む必要がある。
 - ユーザーのユーザー ID は含めることができない。
 - 大/小文字の区別あり。
 - 旧パスワードを再利用するには、4 つの固有の新規パスワードを発行する必要がある。
 - 許容文字は a から z、A から Z、0 から 9。
1. 「モニター・システム」で、「ユーザー管理」を選択する。「ユーザー管理」メインページで、「**アクションを選択**」ドロップダウン・ボックスの「パスワードの設定」を選択します。次に、「実行」をクリックします。「パスワードの設定」ページが表示されます。
 2. 「Password expires (days) (パスワード期限切れ (日数))」フィールドにパスワードの期限が切れるまでの日数を指定する。0 を入力した場合、パスワードの有効期限は切れません。
 3. 「Failed logins allowed (許可されるログインの失敗)」フィールドに許可されるログインの試行回数を指定する。0 を入力した場合は、試行回数の制限がありません。
 4. 「OK」をクリックします。パスワード設定が即時に適用されます。

第 7 章 User Groups (ユーザー・グループ)

ユーザー・グループ (またはユーザーの役割) とは、ユーザーに特定機能の実行を許可する管理者が割り当てるアクセス・レベルのことです。ユーザー・グループは、DS Storage Manager または CLI を使用して作成します。

ユーザー・アカウントが作成されたら、管理者は、アカウントの初期パスワードを指定する必要があります。この初期パスワードは、すぐに有効期限が切れます。したがって、アカウント・ユーザーは、ほかのアクションを実行できるようにするために、パスワードを変更する必要があります。これは、管理者を含むすべてのアカウントの役割についても当てはまります。

ユーザーは、1 つ以上のグループまたは役割に割り当てる必要があります。ユーザーは、複数のグループまたはグループの組み合わせに割り当てることができます。「アクセスなし (限定)」と記されているグループは、別のグループと組み合わせて選択することはできません。

管理者は、以下のユーザー・グループ割り当てを行うことができます (14 ページの表 1 に、各ユーザー・グループの固有の機能を示します)。

管理者 (限定)

割り当て済みの唯一のグループでなければなりません。このユーザー・グループは、最高位レベルの権限を持っています。この権限によって、ユーザーは、ユーザー・アカウントの追加と除去ができます。このグループは、すべてのサービス機能と DS6000 リソースにアクセスできます。

物理オペレーター (限定)

割り当て済みの唯一のグループでなければなりません。このユーザー・グループは、ストレージ複合、ストレージ・ユニット、ストレージ・イメージ、管理コンソール、アレイ、リンク、およびエクステンツ・プールを含む物理構成に関連したリソースにアクセスできます。物理オペレーター・グループは、セキュリティ機能にはアクセスできません。

論理オペレーター

コピー・サービス・オペレーター・グループと組み合わせて割り当てることができますが、他のグループと組み合わせることはできません。このグループは、セキュリティ機能を除く、論理ボリューム、ホスト、ホスト・ポート、論理サブシステム、およびボリューム・グループに関連したサービス機能およびリソースにアクセスできます。

コピー・サービス・オペレーター

論理オペレーター・グループと組み合わせて割り当てることができますが、他のグループと組み合わせることはできません。このグループは、セキュリティ機能を除く、コピー・サービスのすべてのサービス機能とリソースにアクセスできます。

モニター (限定)

割り当て済みの唯一のグループでなければなりません。このグループは、す

すべての読み取り専用、非セキュリティー・サービス機能、および、すべての DS6000 リソースにアクセスできます。

サービス・オペレーター

このグループは、すべてのサービス関連 DS6000 サービス機能とリソースにアクセスできます (例: コード・ロードの実行、問題ログの取得)。このユーザー・グループは、モニター・グループのすべての権限を継承します。

アクセスなし (限定)

デフォルト選択項目。割り当て済みの唯一のグループでなければなりません。このグループは、サービス機能や DS6000 リソースへのアクセスはありません。これは、他のどのユーザー・グループにも関連付けられていないユーザー・アカウントに割り当てられるユーザー・グループです。

表 1. ユーザー・グループの機能

機能	管理者	物理オペレーター	論理オペレーター	コピー・サービス・オペレーター	モニター	サービス・オペレーター	アクセスなし
ユーザー・アカウントの管理	X						
監査ログへのアクセス	X						
ストレージ複合の更新	X	X					
ストレージ・イメージの電源オン/オフ	X	X					
ストレージ・ユニットの更新	X	X					
ストレージ・イメージの更新	X	X					
ストレージ・イメージのウォーム・スタート	X	X					
アレイ、ランク、エクステンツ・プールの管理	X	X					
入出力ポートの構成	X	X					
構成リカバリー・サービス (ボリュームの隔離解除、ピンされたトラックの廃棄、ランクの修理、...)	X	X					
ホストの構成	X	X	X				

表 1. ユーザー・グループの機能 (続き)

機能	管理者	物理オペレーター	論理オペレーター	コピー・サービス・オペレーター	モニター	サービス・オペレーター	アクセスなし
論理サブシステムの構成	X	X	X				
ボリュームの構成	X	X	X				
ボリューム・グループの追加または除去	X	X	X				
ホスト接続へのボリューム・グループの割り当てまたは割り当て解除	X	X	X				
ボリューム・グループへのボリュームの追加または除去	X	X	X				
コピー・サービス (FlashCopy、PPRC、グローバル・ミラー) の管理	X	X		X			
コピー・サービスのタイムアウト値の設定	X	X		X			
ユーザー・アカウント・パスワードの更新	X	X	X	X	X	X	
FRU およびエンクロージャーの照会	X	X	X	X	X	X	
構成の照会	X	X	X	X	X	X	
コピー・サービスの照会	X	X	X	X	X	X	
FRU の管理	X	X				X	
問題管理	X	X				X	
通信パスの確認	X	X				X	
コードのロードを有効にする	X	X				X	
新規 PE パッケージの作成	X	X				X	
ストレージ・ユニットの IP アドレスの管理	X						

第 8 章 管理パスワードのアンロック

管理ユーザーが、DS Storage Manager へのアクセスに使用するパスワードを忘れることがあるかもしれません。間違ったパスワードの使用回数が、設定されている試行許容回数を超えると、アカウントはロックされます。管理アカウントがロックされた場合は、管理者はセキュリティ・リカバリー・ユーティリティ・ツールを使用してパスワードをデフォルト (administrative) にリセットする必要があります。DS コマンド行インターフェースを使用して管理パスワードをアンロックすることはできません。管理ユーザーは、新規パスワードを設定することを強制されます。

chuser コマンドを使用すると、初回の使用の後に有効期限が切れるパスワードを指定し、その後で新規パスワードを作成することができます。詳しくは、DS CLI の資料を参照してください。

注:

1. セキュリティ・リカバリー・ユーティリティ・ツールがアンロックするのは、このツールが作動している DS Storage Manager の管理パスワードだけです。
 2. このタスクでは、セキュリティ・リカバリー・ユーティリティ・ツールを使用して、管理アカウントをアンロックする方法を説明します。管理ユーザー以外アカウントをアンロックする方法については、トピック『ユーザー・アカウントのアンロック』で説明します。
 3. セキュリティ・リカバリー・ユーティリティ・ツールは、ファイル・ディレクトリーにインストールされているスクリプトです。このスクリプトをディレクトリーから実行します。
1. コマンド・プロンプトを開き、リカバリー・ツール (スクリプト) がインストールされている C:\Program Files\IBM\dsniserver5\bin\ ディレクトリーにナビゲートします。
 2. スクリプト名の securityRecoveryUtility.bat -r を入力します。
 3. 「Enter」キーを押します。スクリプトが実行され、管理アカウントがアンロックされます。パスワードがデフォルト (admin) にリセットされます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

IBM Director of Licensing
IBM Corporation
IBM World Trade Asia Corporation
Licensing
U.S.A.

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

アクセシビリティ

アクセシビリティ機能とは、身体に障害を持つユーザーが快適に情報へアクセスし、テクノロジーを使用できるようにするものです。

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザーがソフトウェア・プロダクトを快適に使用できるようにサポートします。

機能

IBM System Storage™ DS6000 情報の主なアクセシビリティ機能は、次のとおりです。

- スクリーン・リーダー・ソフトウェアとデジタル音声シンセサイザーを使用して、画面の表示内容を音声で聞くことができる。IBM ホームページ・リーダー・バージョン 3.0 は、テスト済みです。
- マウスの代わりにキーボードを使用して、各種機能を操作できる。

キーボードによるナビゲート

キーやキーの組み合わせを使用して、マウス・アクションによって実行できる操作を実行したり、メニュー・アクションを開始することができます。ブラウザーやホームページ・リーダーのショートカット・キーを使用して、IBM System Storage DS6000 情報をキーボードからナビゲートできます。ブラウザーがサポートしているショートカット・キーのリストについては、ブラウザーのヘルプを参照してください。ホームページ・リーダーでサポートされるショートカット・キーのリストは、下記の Web サイトを参照してください。

http://www-306.ibm.com/able/solution_offerings/keyshort.html

資料へのアクセス

IBM System Storage DS6000 情報の HTML 版については、Web サイト <http://www.ehone.ibm.com/public/applications/publications/cgibin/pbi.cgi> を参照してください。

この情報には、IBM ホームページ・リーダー 3.0 を使用してアクセスすることができます。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

- AIX
- DB2
- DFSMS/MVS
- DFSMS/VM
- e (ロゴ)
- Enterprise Storage Server
- ES/9000
- ESCON
- FICON
- FlashCopy
- Graphically Dispersed Parallel Sysplex
- HACMP
- i5/OS
- IBM
- IntelliStation
- MVS/ESA
- Netfinity
- NetVista
- Operating System/400
- OS/400
- RS/6000
- S/390
- Seascape
- SNAP/SHOT
- SP
- System/390
- System p5
- System Storage

- Versatile Storage Server
- Virtualization Engine
- VSE/ESA
- z/Architecture
- z/OS
- z/VM
- zSeries

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Intel、Intel(ロゴ)、Intel Inside、Intel Inside (ロゴ)、Pentium、Intel Centrino、Intel Centrino (ロゴ)、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

使用条件

これらの資料は、以下の条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

個人使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布（頒布、送信を含む）または表示（上映を含む）することはできません。

商業的使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

電波障害自主規制特記事項

本セクションでは、アメリカ合衆国およびその他国における電波障害自主規制特記事項またはステートメントについて説明します。

Federal Communications Commission (FCC) statement

This equipment has been tested and complies with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, might cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used to meet FCC emission limits. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors, or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the users authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device might not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

European community compliance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EC Council Directive 89/336/EEC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a nonrecommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

Germany only

Zulassungsbescheinigung laut Gesetz ueber die elektromagnetische Vertraeglichkeit von Geraeten (EMVG) vom 30. August 1995.

Dieses Geraet ist berechtigt, in Uebereinstimmung mit dem deutschen EMVG das EG-Konformitaetszeichen - CE - zu fuehren.

Der Aussteller der Konformitaetserklaeung ist die IBM Deutschland.

Informationen in Hinsicht EMVG Paragraph 3 Abs. (2) 2:

Das Geraet erfuehlt die Schutzanforderungen nach EN 50082-1 und EN 55022 Klasse A.

EN 55022 Klasse A Geraete beduerfen folgender Hinweise:

Nach dem EMVG:

"Geraete duerfen an Orten, fuer die sie nicht ausreichend entstoert sind, nur mit besonderer Genehmigung des Bundesministeriums fuer Post und Telekommunikation oder des Bundesamtes fuer Post und Telekommunikation betrieben werden. Die Genehmigung wird erteilt, wenn keine elektromagnetischen Stoerungen zu erwarten sind." (Auszug aus dem EMVG, Paragraph 3, Abs.4)

Dieses Genehmigungsverfahren ist nach Paragraph 9 EMVG in Verbindung mit der entsprechenden Kostenverordnung (Amtsblatt 14/93) kostenpflichtig.

Nach der EN 55022:

"Dies ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstoerungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Massnahmen durchzufuehren und dafuer aufzukommen."

Anmerkung:

Um die Einhaltung des EMVG sicherzustellen, sind die Geraete wie in den Handbuechern angegeben zu installieren und zu betreiben.

情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) クラス A 表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

Korean Ministry of Information and Communication (MIC) statement

Please note that this device has been certified for business use with regard to electromagnetic interference. If you find this is not suitable for your use, you may exchange it for one of residential use.

Taiwan class A compliance statement

警告使用者:

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

VS07171L

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

【ア行】

アカウントのセットアップ

アンロック、ユーザー・アカウントの 7

管理パスワードのアンロック 17

追加、ユーザー・アカウントの 3

ユーザー・アカウントの管理 3

アクセシビリティ 20

ユーザー (続き)

変更、ユーザー・アカウントの 5

ユーザー・グループ 13

ユーザー管理

アンロック、ユーザー・アカウントの 7

管理パスワードのアンロック 17

削除、ユーザー・アカウントの 9

追加、ユーザー・アカウントの 3

パスワード規則の定義 11

変更、ユーザー・アカウントの 5

ユーザー・アカウントの管理 3

【カ行】

キーボード

アクセシビリティ機能 20

【サ行】

削除

ユーザー・アカウント 9

商標 21

セキュリティ

定義、ユーザー・グループの 13

【タ行】

追加

ユーザー 3

【ハ行】

パスワード

規則の定義 11

使用基準 3

変更、ユーザー・アカウントの 5

法律上の

使用条件 22

【ヤ行】

ユーザー

削除、ユーザー・アカウントの 9

除去、ユーザー・アカウントの 9

追加 3

定義、アクセスの 13



Printed in Japan